

お知らせ

マルティン・グロピウス・バウ

ベルリン、2009年3月

展覧会：“モデル バウハウス”

会期：2009年7月22日—10月4日

開館時間：10時—20時（祭日も）

主催：バウハウス資料館 / 造形美術館・ベルリン
バウハウス財団・デッサウ
クラシック財団・ワイマール

協賛：国立文化財団

プレス担当：

Dr. ユリア・グレスナー (Dr. Julia Glesner)

モデル バウハウス コミュニケーション 責任者

電話：03643 / 545104

ファックス：03643 / 545118

Eメール：presse@modell-bauhaus.de

バウハウス創立90周年を記念し、ドイツ国内にあるバウハウス記念館三館がはじめて共同で開催する展覧会

1919年、ワイマールにおいて、国立バウハウスが創立されて90年、東西ドイツ再統一から20年を記念して、本年2009年、バウハウス記念館三館により、初の合同展覧会がベルリンのマルティン・グロピウス・バウで開催されます。

「モデル バウハウス」のタイトルの下、ベルリンのバウハウス資料館 / 造形美術館、デッサウのバウハウス財団、およびワイマールのクラシック財団はドイツを代表するバウハウスコレクション所蔵および研究機関として、本年7月22日より10月4日まで、バウハウスの歴史と成果に関する展覧会を行います。展覧会の趣旨によって、最もふさわしいベルリンが開催地となります。

展覧会のめざすところは、その教授陣と生徒達の作品を包括的に展示することにより、バウハウスの歴史を新たに呈示することにあります。近代の発展とグローバル化にとってのバウハウスの重要性への認識をより深めることが目的です。この観点から、バウハウスの後世への影響が展覧会の主題となります。

協力パートナーとしてニューヨークの近代美術館では、創立80周年を記念して、ベルリンでの展覧会に引き続き、「バウハウス 1919—1933：モダニティへのワークショップ」と題して、同展覧会が開催されます。

歴史的背景：

バウハウスは1919年、ワイマールで創立され、1925年からはデッサウに移転し、1933年、ベルリンで閉校となりましたが、今日に到るまで、20世紀のドイツ文化の中でも最も影響力を持ち、成功に満ちた輸出品でもあります。この、学際的に活動した芸術、建築、デザイン、舞台美術に関する国際的な学校は、閉鎖から数十年経った今日も絶えることなくアクチュアルであり続けているのです。

バウハウスは今日でもモダンといえます。なぜなら、バウハウスは創造性と造形の社会的影響を一貫して追求したから。伝統的なジャンルの境界を徹底的に超越し、学際的であり続けたから。なぜなら、開校当初から国際的な布陣で、体系的に造形の世界語を探っていったから。バウハウスの魅力と成果がドイツでの当時の活動期にとどまらず、1933年の解散以降においても同様に光彩を放っているのは、とりもなおさず、バウハウスが近代主義の実験室、工房として、政治的意図からは破壊されたものの、グローバルな成果は実はそこから本格的に展開することができたということを示しているのです。